



セカンドハーベスト名古屋「個人支援」の歴史

セカンドハーベスト名古屋(以下2HN)が設立された2008年はリーマンショックがあった年です。当時は主に炊出し団体への食材提供を中心に活動していましたが、困窮者支援団体を通じての食料支援に限られていました。2011年、東日本大震災に対してできることはないかと模索する中、避難所から仮設住宅に移った人には支援の手が及びにくくなると聞き、東海地方の各種団体に呼びかけ、食品パック「ごはん応援箱」を送る活動を展開しました。これが2HNの個人支援の始まりと言えます。その後、草の根ささえあいプロジェクトが実施する「よりそいホットライン」を通じて食品パックを送る活動や、自らポルトガル語相談窓口を設け困窮するブラジル人等に食品を提供する活動等を実施しましたが、やはり困窮する個人が見えにくく、大きく発展するには至りませんでした。

2015年、生活保護受給者が200万人を超えたことから国が「生活困窮者自立支援法」を施行、全国の自治体に生活困窮者の自立支援を担う相談窓口が開設されることになりました。名古屋市ではこのモデル事業(名古屋市仕事・暮らし自立サポートセンター名駅)が2014年10月から先行実施されることとなり、食料支援が必要な困窮者に2HNから食品パックを直接送る活動を実施しました。この試みは相談に訪れた困窮者だけでなく自立に向けた支援相談を担う相談員の方々の支持も得、瞬間に東海3県の相談窓口との連携ができるようになり、ようやく困窮する個人が見えてきて大きく発展しました。

2017年には児童養護施設の職員からの相談を受け、施設を退所した子どもたちを支援するための「社会的養護の施設と連携した個人支援」を開始、現在は施設と連携し毎月90箱近くの食品パックを送付しています。2023年にはより多くの社会的養護の施設と連携してケアリーバー支援を開始。施設を退所後、食に困った時に施設の担当者を通じて食料支援を依頼できるようにしました。

我々2HNは困窮者支援のノウハウは持っていませんが、困窮者支援を行う団体と連携することで、困窮者に食料支援を行っています。これからも新たな連携先を模索し、更なる「東海地方における食のセーフティネット構築」を進めていきます。



CONTENTS

- セカンドハーベスト名古屋「個人支援」の歴史……p.1
- 2HNの「個人支援」～支援箱が届くまで……p.2～4

セカンドハーベスト名古屋の “個人支援” 支援箱が届くまで

私たちはご寄贈いただいた食品を「団体支援」「個人支援」の2つの仕組みで配布しています。今回は2HN独自の仕組みである「個人支援」について紹介します。

東海三県の困窮者支援窓口と連携し、食に困っている人へオンデマンドで直接食品を届けるこの活動は、他にはない、ちょっと自慢できる活動だと自負しています。

行政等相談窓口の声

食料支援のきっかけは、くらサポ開設前の視察で他都市の窓口で食料支援を行っているのを見たことでした。そこで、面識のあった岡本さん（2HNの元理事長）に相談しました。当初はどんな形で支援するかイメージはなかったのですが、相談しながら現在のような食品を箱詰めして送る形になりました。

実際に支援を始めると、アレルギーのこと、外国人への支援などさまざまな課題が出てきましたが、そういったことにも対応していただき、本当に助かりました。

（名古屋市仕事・暮らし自立サポートセンター名駅初代センター長 大熊様）

食糧支援箱は次の収入が入るまで食糧を買うお金がない方などに対し、提供させていただいております。

（北名古屋市社会福祉協議会 吉田様）

各市町社会福祉協議会と連携して、生活困窮者世帯に対し、緊急的に食料（食料支援箱）を提供することにより、当該世帯の生活維持及び再建に役立っています。

（三重県社会福祉協議会生活相談支援センター）

① 食品の収集



毎日、企業や個人の皆様からご寄贈いただいた食品が倉庫に届きます。最近では、学校や職場でのフードドライブ活動による寄贈も増えていきます。皆様のご協力あつての活動です。

② 食品の計量・仕分け

食品の重さをはかり、中身の状態を確認します。さらに使いやすいよう賞味期限、種類別に仕分けします。



③ 「依頼書」の受付

毎日ファックスで依頼書が届きます。内容を確認し、箱づくりをするにあたって確認しておきたい点があれば窓口の担当者に問い合わせます。

point 1 行政等の相談窓口との連携

前ページで紹介した通り、名古屋市の困窮者支援相談窓口の開設時から連携を開始。現在は一部を除く東海三県ほぼ全ての窓口と連携しています。窓口で食料支援が必要と判断すれば、2HNへ依頼書をファックス送付、2HNから相談者のご自宅もしくは窓口へ支援箱を送付する、という連携が確立しています。

⑤ 発送

15時半までの依頼分については、当日中に発送します。郵便局のご協力のおかげで、最短翌日の午前中に届きます。

point 3 即日発送

窓口へ相談に来る方の中には所持金が0円という方もめずらしくありません。できるだけ早く食品を渡すため、月一金曜の毎日、3-5名のボランティアがシフトを組んで箱づくりをしています。



食品を受け取った方からの声です！

④ 支援箱の作成

依頼書をもとに食品を箱詰めします。平均でお米5kgとレトルト食品などのおかず類、嗜好品など12-13kgの食品が入ります。箱には食品の他に利用にあたっての注意書きと手書きのお手紙、受領ハガキを入れています。



point 2 オーダーメイドの箱づくり

箱づくりは「依頼書」を読むことから始まります。そこには家族構成や現況、主食はお米か、アルファ米か、どの程度調理できるのかといった調理状況、アレルギーの有無などが記載されており、それらの情報をもとに食品を選んで箱詰めしています。寄付いただいた食品が無駄にならないよう、各世帯が使いやすい食品を入れることを目標にしています。



水道や電気の止まっている人もいます。依頼書を読み、受け取る相手がある状況であっても、食べてもらえるように心がけて箱を作っています。また、以前に箱を送った方から届く受領ハガキのコメントにもよく目を通しています。

ボランティア Tさん



寄付された食品の中から、何が依頼者の状況と合うか、探しつつ食品を選んでいきます。隙間なく食品を詰めて、箱を開けた時にひとときでも安心感をもってもらえたらと思います。

ボランティア Yさん



箱づくりを行うボランティアさんの声

お腹が空いている人へ、お腹いっぱい食べてほしいという思いで作っています。特に育ち盛りの世代には、できるだけ沢山送りたい気持ちになります。

ボランティア Oさん



食品を受け取った方からの声



個人支援の箱には受領書を兼ねたハガキを入れています。食品を受け取った方からの丁寧な返信ハガキが私たちの活動の励みになっています。
※こちらに掲載した受領ハガキは、「公開可」に○をつけていただいたものです。

受領書

これは食料支援箱の受領を確認するためのハガキです。必ず投函してください。今後の参考のため、アンケートにもご回答ください。

1.この箱の中で助かった食品はどの食品でしたか？
 多岐でも、お昼かおいた時に作れるものが多く入れて下さっていたので、「お昼かいた…」と嬉しい思いをさせずに、食事まで済ませることも出来ました。

2.この箱の中で食べるのに困った食品はどの食品でしたか？
 なかったです。

3.ご意見があれば書いてください。
 お願いしてから、すぐに対応してくださり、大変助かりました。今日食べるものあつたかな…仕事帰りの車の中で着る毎日です…。ありがとうございます。

R5年 2月 7日

40代 女性 本人と子ども1人世帯

受領書

これは食料支援箱の受領を確認するためのハガキです。必ず投函してください。今後の参考のため、アンケートにもご回答ください。

1.この箱の中で助かった食品はどの食品でしたか？
 お米、しょうゆ、マヨネーズ(調味料)
 お菓子、魚肝油、レトルトカレー

→この箱に再度届くとは知らず、こちらのミスです。

2.この箱の中で食べるのに困った食品はどの食品でしたか？
 1才とだけお伝えしていたのですが、もうすぐ2才に近づいているので、産後食のレトルト食品(野菜が、工夫もして)せめて、ありがたく頂いた食べ物(すず)やってみると、アレンジをして子供たちが喜んでくれました。

3.ご意見があれば書いてください。食べてくれました。家計も精神的、金銭的にもすべて苦しい限り。声を上げた日時に、こちらを助けて頂き申し込ませて頂きました。誰かの善意により、苦し涙から笑顔に変わりました。箱を届けて、子供も誰かがこまめにくれたことに喜んでいて、明るい時間を過ごしています。今はとてもまだ、そんな状況ではないですが、いつか恩返しができるように、この気持ちを忘れずに、ありがたく、うれい、がんばっています。ありがとうございます。

R5年 3月 28日

30代 女性 夫婦と子ども2人世帯

受領書

これは食料支援箱の受領を確認するためのハガキです。必ず投函してください。今後の参考のため、アンケートにもご回答ください。

1.この箱の中で助かった食品はどの食品でしたか？
 お米、麺類

2.この箱の中で食べるのに困った食品はどの食品でしたか？
 特にありません。

3.ご意見があれば書いてください。
 誰に助けを求めているかわからず、相談に行くと役所の福祉課で教えていただき即日食料品を送っていただきました。本当に困っていたときの即時の対応は本当に助かりました。このような活動をこまめにやることを、ぜひ知ってほしいです。この度は、本当にありがとうございます。

2023年 2月 10日

40代 男性 本人と母親世帯

受領書

これは食料支援箱の受領を確認するためのハガキです。必ず投函してください。今後の参考のため、アンケートにもご回答ください。

1.この箱の中で助かった食品はどの食品でしたか？
 米です。これだけで1月は食べたいだけの、と2ヶ月分あります。

2.この箱の中で食べるのに困った食品はどの食品でしたか？
 全くありません。内容よく吟味した上で、取り合せて頂けるのが、よく感じられました。

3.ご意見があれば書いてください。
 この1箱で2ヶ月生きていけます。本当にありがたいです。ぜひ感謝申し上げます。頑張る生きていける力を与えてくれた気がします。ありがとうございます。

2023年 2月 16日

50代 男性 単身世帯

受領書

これは食料支援箱の受領を確認するためのハガキです。必ず投函してください。今後の参考のため、アンケートにもご回答ください。

1.この箱の中で助かった食品はどの食品でしたか？
 揚げ物等に使う調味料や、鍋物やカレーにうれしたです。野菜をお取り扱っていただくため、使わせていただきます。

2.この箱の中で食べるのに困った食品はどの食品でしたか？
 全くないです。これも大事に使わせて頂きます。

3.ご意見があれば書いてください。
 病気が、失業して不要ざらばいでしたが、食品の寄付をいただけること知りとてもありがたかったです。こまめにたくさん届けて、思っていたより、感謝申し上げます。ありがとうございます。

2023年 2月 16日

20代 女性 単身世帯

寄付のお願い

いつも2HNの活動へのご理解、ご協力をありがとうございます。私たちの活動は行政からの支援は一切なく、皆様からの寄付金、会費、助成金などにより支えられています。

今後も皆様のあたたかいご支援、何卒よろしくお願い申し上げます。

※2HNは名古屋市の認定NPO法人で、2HNへの寄付は所得税の寄附金控除の対象となります。

銀行振込

三菱UFJ銀行 栄町支店 普通口座 0015287
特定非営利活動法人 セカンドハーベスト名古屋

※領収書が必要な方は、info@2h-nagoya.org までご連絡ください。

クレジットカード

単発での寄付だけでなく、毎月の継続寄付メニューもご用意しております。

■ 1,000円/月 ■ 3,000円/月 ■ 5,000円/月 ■ 10,000円/月

セカンドハーベスト名古屋 寄付

